

そして、ある日のこと。ももたろうは、おじいさんとおばあさんに手をついて、いいました。

ももたろう「このごろおにがしまのおにたちが、あっちこっちのむらで、らんぼうをはたらき、

たいせつなお米やお金をぬすんでいるとききました。」

おに「金をだせ。だからはどこだ。」

米はどこだ。うおー。」

ももたろう「どうか、わたしに

おにたいじにいかせてください。」

おじいさん「ももたろうや、

おまえはまだ子どもじゃ、

おににかてるわけがないじやろう。」

ももたろう「いいえ。

わたしはきつとかってみせます。」

